



CBR250R CUP ROADRACE

2013年 CBR250R CUP ROADRACE 筑波 第2戦
筑波サーキット [4月20日(土) 決勝 天気 雨]

#56 名越 哲平 [予選: 2位, 決勝: 2位]

予選は上手く組み立てることができ、後半でもクリアラップを確保し、納得のできる走りで自己最高グリッドを獲得できたので満足しています。

決勝は直前に雨が降り出しましたが、チームの皆さんが素早く対処してくれ、不安なくレースに挑めました。

トップに立った後は逃げようと思いましたが、バトルしていた2名も速かったので最後に前に出る作戦に変更しました。

最終ラップのストレートでスリップから前に出たのですが、さらに内側から飛び込まれてしまい2位となってしまいました。

とても悔しいですが、チームがバイクも仕上げてくれ自信を持って走れているので、次回こそ優勝したいです。



#62 櫻井 芽依 [予選: 14位, 決勝: 12位]



予選は自己ベストタイムも更新でき落ち着いて走ることができました。

周りのライダーがとても速く順位としては開幕戦より下がってしまいましたが、内容には納得しています。

決勝は雨でしたが何度か練習していましたし、リラックスして挑みました。

前回失敗してしまったスタートも今回は上手いきき、

レース中盤も順位をあげることができたので開幕戦よりも良いレースができたと思います。

スタートから自分のペースを掴むまでの序盤の走りを改善できればもっと良い順位を獲得できると思うので、課題を克服して次回のレースには挑みたいです。

【56RACING 監督代行 : 中野 満 コメント】

今回は、監督の中野真矢が、「アジア・ドリーム・カップ」のプロフェッショナルトレーナーとして、マレーシアでの開幕戦に同行しているため、私が代行を務めました。

まず、今回の2名のライダーの成長ぶりには、目を見張るものがありました。

哲平選手は予選と決勝のレースマネージメントが素晴らしく、それがリザルトに現れたものと思います。一方、芽依選手は自己ベストを大幅に更新する予選タイムは評価ができます。

チームの目標である“鈴鹿への道”も、かすかではありますが見え隠れしてきたことは、ライダーは勿論、我々スタッフのモチベーションも高くならざるを得ません。

皆様の更なるご支援、ご声援をお願いします。



EDWIN.

503

G-SHOCK



swish & sensuous

PINS
FACTORY

EK
CHAINS

MOTUL

Arai
HELMET

RUSH TANI
HAMAMATSU

SP
TADA O
RACING
TEAM

TTS
TSURUMI TECHNICAL SERVICE

X.A.M.
...the smart gear



BATTLE FACTORY

Project JJ

NPROJECT
MOTORCYCLE DIVISION

SGF
SACRED GROUND
www.sgfmoto.com

YF DESIGN

GARAGE Attractive

Office Four Eight